

編集後記

「日本看護倫理学会誌」の創刊号をお届けします。

本号は、2008年6月に神戸で開催された本学会設立記念大会のシンポジウム論文、シンポジストと会場との対話、および参加者からのレターを掲載しています。対話の様子は、全体の逐語録を編集委員会が圧縮・整理して収録しました。一堂に会した看護実践者、教育・研究者が交わした熱い対話を、限られたスペースにできる限り生き生きと伝えることができるよう努力したつもりですが、いかがでしょうか。

日本の看護は大きく成長し、メジャーな学会はすでに数10年の歴史を誇っています。それに対して本学会は発足したばかり、これからの数年は基礎固めの時です。会員を増やして財政的・人的資源の基盤を作る、組織の構成・権限・コミュニケーション等の諸側面を定める等の、組織運営に不可欠な事項に取り組んでいかねばなりません。学会誌についても、新人編集委員一同は、表紙、全体構成、投稿・査読のガイドライン等について、看護以外も含め、多数の国内外の「先輩」学術誌を参考にしつつ、「基礎固め」とシステムづくりの検討をしました。そこでわかったことの一つは、日本の学会誌は、看護・非看護とも、「原著」という研究論文に高い価値を置いているということです。海外の学術誌の多くはもはやそうではなく、研究論文だけでなく、論説や文献検討、あるいは事例検討など、あらゆる種類の論文に同等の価値を置いています。本学会は私たちが実践し生活する生きた現実を見つめ、対話し、そこから学問を発展させていこうとする倫理の学会ですので、いわゆる「原著論文」のカテゴリーは設けない等の方針を、投稿手引きに反映させることとしました。今回の「手引き」は次の号のためのものとし、そこでの経験を踏まえ、第3号からは正式な投稿規定としていく予定です。皆様のご意見と、沢山のご投稿をお待ちします。本学会のオーナーは一人ひとりの学会員です。皆で力を合わせて私たちの学会を育てていきましょう。

(小西恵美子)

日本看護倫理学会誌 Journal of Japanese Nursing Ethics

Vol. 1 No 1, 2008年11月10日発行

編集：日本看護倫理学会編集委員会

委員長：小西恵美子

委員：大久保功子、大森純子、田中高政、田村恵子、中嶋尚子、前田樹海（アイウエオ順）

発行：日本看護倫理学会

代表者：高田早苗

事務局：〒651-2103 兵庫県神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学内

Tel・Fax 078-794-8050

印刷：有限会社トータルマップ
